

デング熱国内感染症例の発生について

1 概要

今般、つくば市内の医療機関に入院している患者の検体を、国立感染症研究所で検査を行った結果、デング熱の感染が確認されました。当該患者は海外渡航歴がなく、国内でデング熱に感染したと考えられます。患者は現在入院中ですが、快方に向かっています。

2 患者について

- (1)年齢・性別 :10歳代, 女性
(2)海外渡航歴 :なし
(3)蚊の刺咬歴 :8月16日-18日
都立代々木公園周辺に宿泊し, 日中野外で活動した。
(4)発症・受診 :8月23日発症 8月27日医療機関受診し入院
(5)症状 :発熱, 頭痛, 血小板減少, 白血球減少
(6)検査・診断 :8月29日に医療機関からつくば保健所へデング熱感染疑い患者について連絡あり
8月30日に県衛生研究所の検査で陽性
9月1日に国立感染症研究所における確認検査の結果, 陽性

3 デング熱について

(1) 概要

- ・ 蚊が媒介するデングウイルスによる疾患で, アジア, 中東, 中南米, オセアニア等の世界の広範な地域で流行しています。
- ・ ヒトが感染してもデング熱を発症する頻度は10~50%。
- ・ ヒト(患者)— 蚊 —ヒト という経路で蚊を媒介して感染し, ヒトからヒトへ直接感染することはありません。

(2) 症状

- ・ 潜伏期間は多くは3日~7日とされ, その後, 発熱, 発疹, 頭痛, 筋肉痛, 関節痛などの症状がみられる。
- ・ 通常の患者は発病後2日~7日で解熱し, そのまま治癒する。
- ・ まれに重症化して, 出血傾向やショック症状がみられることがある。

(3) 治療法

- ・ 特異的な治療法はなく, 対症療法をおこなう。
- ・ 現在のところ, 有効な抗ウイルス薬はない。

(4) 予防法

- ・ 国内ではヒトスジシマカ(主に昼間吸血する習性がある)がデング熱を媒介する可能性があるため、蚊との接触を避け、刺されないようにすることが重要です。
- ・ 具体的には
 - ①長袖、長ズボンを着用するなど、屋外で活動する時には肌の露出をなるべく避ける。
 - ②虫よけ剤などを使用し、蚊を寄せ付けないように注意する。
 - ③室内も蚊の駆除を心掛ける。
 - ④蚊の幼虫の発生源を作らないように注意する。
(蚊は水辺に産卵する。下水溝、廃タイヤの中や水桶等人工的な環境でも産卵し増殖する。)

(5) 参考

デング熱の県内発生状況

(人数)

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
患者数	2	1	1	3	5	2

※全て海外感染事例

※平成26年は本事例を含めず平成26年8月31日現在

4 県内の対応

- ・ 県民からの相談は、県内の各保健所および保健予防課で受け付けています。
- ・ 県内の医療機関へは本事例について情報提供し、疑い患者が受診した場合には保健所へ報告していただくよう、再度周知をはかります。

【県内の保健所および保健予防課の連絡先】

保健所名	電話番号	管轄市町村
水戸保健所	029-241-0100	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
ひたちなか保健所	029-265-5515	ひたちなか市、東海村
常陸大宮保健所	0295-52-1157	常陸太田市、常陸大宮市、那珂市、大子町
日立保健所	0294-22-4188	日立市、高萩市、北茨城市
鉾田保健所	0291-33-2158	鉾田市、行方市
潮来保健所	0299-66-2114	鹿嶋市、潮来市、神栖市
竜ヶ崎保健所	0297-62-2161	龍ヶ崎市、取手市、牛久市、守谷市、稲敷市、河内町、利根町
土浦保健所	029-821-5342	土浦市、石岡市、かすみがうら市、美浦村、阿見町
つくば保健所	029-851-9287	つくば市、つくばみらい市
筑西保健所	0296-24-3911	筑西市、結城市、桜川市
常総保健所	0297-22-1351	常総市、坂東市、下妻市、八千代町
古河保健所	0280-32-3021	古河市、五霞町、境町
保健予防課	029-301-3219	

相談受付時間: 平日 8時30分から17時15分